

令和4年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	躍進会 野中国幹	1. 市長3期目に向けての所信について	<p>令和4年第3回定例会（9月議会）の市長説明要旨の中で、令和5年4月の任期満了に伴う市長選出馬に対し、再びチャレンジしたい旨の決意表明があった。そこで伺うが、2期8年間で振り返り、公約とされた政策提言に対して、積み残した課題はあるか、同時に3期目に向けての考え方は、どのような方向性を打ち出していきたいか。</p>
		2. 小笠原橋改良に伴う長清公のモニュメント設置について	<p>昨年の9月議会で質問した小笠原橋へ長清公のモニュメント設置についての質問を行い、回答を得たところであるが、その後の検討を模索する中で、本年2月に長崎知事へ金丸市長・市議会正副議長・地元小笠原区自治会長・及び久保田県議の同席を得て、要望書の陳情を行ってきたところである。この時、長崎知事からモニュメントの設置については、「設置いたします」とのありがたい回答をいただき、地元の皆さんの念願が叶えられたと、安堵するところである。</p> <p>そこで伺うが、今後モニュメントの構想をどのように考えているか、県としても小笠原長清公との関わりのある市や市民団体である長清公顕彰会に意見を求められるものと推測する。従って構想案を求められた時点で、市としての提案ができるよう、早めの対応が必要と考えるが、市の見解は。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	公明党 小池伸吾	1. 南アルプスIC 新産業拠点整備 事業について	<p>(1) ヒカレヤマナシが運営するエリアでの事業内容について、市として、事業者募集時に示した事業要件を実施していただくために、今後、どのように関与していくのか。</p> <p>(2) コストコに来ていただくお客様をヒカレヤマナシの運営するエリアに呼び込む方策はあるか。また、本市の魅力をどのように発信し、市内観光等に結び付けていくのか。</p> <p>(3) J A、商工会、観光協会との協力体制を考えているか。</p> <p>(4) 防災の観点から、災害時の協力体制をどのように考えているか。</p> <p>(5) 交通・観光のハブ拠点の具体的な計画はあるのか。また、誘致企業や観光資源との連携をどう考えるのか。</p> <p>(6) 周辺交通のあり方として、渋滞緩和策は喫緊の課題と考える。道路整備の計画を早期に示すべきと思うが、市の考えは。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	未来創政の会  矢崎俊秀	1. 南アルプスIC 新産業拠点整備 事業における市 が果たすべき課 題について	<p>(1) 新産業拠点整備事業は計画地周辺が建築行為を制限した一団の青地域であることから「都市機能集約型都市構造の実現方針」と整合性が図れていない。今後どの様に整合性を図るのか。</p> <p>(2) 新産業拠点整備事業は、本市が土地等の造成工事をはじめ文化財の調査などを代行執行とするとともに、誘致企業に対して補助金等で支援する流れにある。                      また、土地利用を図るための都市計画法に基づく開発整備促進区に関する事務も市が実施する。そこで、公共事業にある企業誘致から生じる合意形成の対象やあり方をどの様に捉え考えているのか。</p> <p>(3) 当該事業がもたらす「プラス要因」や「マイナス要因」を踏まえて相乗効果のあるまちづくりをどの様に進めるのか。</p> <p>(4) 市は費用対効果について、資料や議員説明会で全体像が分かる費用対効果を示す事がなかった。したがって、白紙委任を求めていることに等しいが、公共事業としての合意形成が得られたと考えるのか。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>名取 泰</p>	<p>1. 南アルプスIC 新産業拠点整備 事業について</p>	<p>(1) これまで市は、地権者からは土地を借り受け、それを市が取りまとめた上で、参入事業者（誘致企業）には事業用定期借地権設定契約により賃貸するという内容で公募を行なってきた。今、この内容と違うことを行なおうとしていることに対してどう説明するのか。</p> <p>(2) 新産業拠点整備事業の審査基準では、誘致企業は、市から事業用地を借り受け、事業を実施するものと定められている。企業に対して土地の売却ということになれば、審査基準に反することにならないか。</p> <p>(3) 新産業拠点整備事業における土地活用の内容が、当初の予定から変更されたことにより、事業費にも変動が予想される。市はこの事業全体でどれくらいの事業費を投じる考えか。</p> <p>(4) 市は投じた事業費を、誘致企業との間でどのように収支していく考えか。</p> <p>(5) 誘致企業の事業展開により、地元の経済や農業などへの影響を心配する声がある。企業の開業前をはじめ開業後も含めて、市として影響調査の実施や、企業と地元団体などが協議できる場をつくる必要があると考えるが、どうか。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>名取 泰</p>	<p>2. 市の健診（検 診）事業につい て</p>	<p>(1) 市は人間ドック検診料の助成に含まれていた前立腺がん検診を、令和2年度からオプションの一部助成に変更したが、それにより検診率が低下することが危惧される。男性は前立腺がんの罹患率は高いことから、早期発見・治療を促すために元のように人間ドック助成の中に含めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 市の巡回健診で現在実施されていない、視力、聴力の検査について、検査項目に加えるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) これまでも議会から重ねて求められているが、75歳以上に対しても人間ドック助成を行なうべきと考えるがどうか。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	南風 櫻田 力	1. 放課後児童クラブにおける学童の安全・安心を確保するための取り組みについて	<p>(1) 南アルプス市放課後児童クラブ条例施行規則に定められた利用定員を上回る児童を抱えた多くの放課後児童クラブの運用実態を市はどのように捉えて、児童たちの安全、安心を確保することに対応しているのか。</p> <p>(2) 放課後児童クラブと児童館における危機管理体制を確立することを目的に「南アルプス市放課後児童クラブ・児童館危機管理マニュアル」が作成され運用されているが、このマニュアルを基本とした放課後児童クラブの危機管理体制の構築状況を市はどのように認識しているか。</p> <p>(3) AED（自動体外式除細動器）の設置、設置場所の周知及び救命活動への活用についての市の基本的な考え方とその運用の実情について伺う。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	新政南アルプス 飯野多恵子	1. 子育て支援について	<p>(1) 南アルプス市の子育て支援策は、他市に先駆け整備が進み、子どもを育てていくうえで大きな支援になっている。現在、福祉施策を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの第7波にあり、医療・介護・保育などが影響を受け崩壊寸前であると言われており、その中で、子育て支援の充実は、これからの政策にとり大きな柱であると考えます。</p> <p>そこで、これまで進めてきた子育て支援について、市として南アルプス市の実施状況をどのように捉え、今後どのように推進していくのか。</p> <p>(2) 現在、子ども・子育て会議に対して、「子ども子育て応援宣言」の内容について諮問している。この宣言は、南アルプス市にとって大きな政策となるものだと考える。</p> <p>そこで、このような大きな政策の柱を、子ども・子育て会議に諮問し答申を待つばかりでなく、市としてこの宣言の必要性をまず示すことが必要と考えるが、市の所見は。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	新政南アルプス 飯野多恵子	2. 健康増進計画について	<p>(1) 新型コロナウイルスが蔓延し3年が経とうとしている。現在でも収束は見通せない状況下ではあるが、新型コロナウイルスの特性など少しずつ解明され、国においても経済との両立が求められてきている。しかしこれまで行動自粛してきた高齢者には、心身の健康が阻害されてきているのではないかと危惧される。</p> <p>健康増進計画には「市民と行政及び医療関係団体との協働で一人ひとりが健康づくりを実践し活気あるまちづくりを目指す。」とされている。南アルプス市は、平成29年に山梨県の自治体として初めて「健康からのまちづくり」を目指す全国の自治体が参加するスマート・ウェルネス・シティに加盟し、市民の健康意識向上に向けた事業「健康リーグ」を自治体間で情報共有してきたと聞いている。</p> <p>そこで、市民のための計画、実行性のある計画、根拠に基づく計画とされている健康増進計画に掲げられている地域と企業、団体と一体となった事業とはどのような事業を考えているのか。また、それら事業の進捗状況と今後の進め方について伺う。</p> <p>(2) 「健康リーグ」の大きな柱でもある「健康わくわくウォーク」は初年度から大変な人気で定員を大幅に超えた申し込みがあり、この事業により市内でウォーキングしている人をよく見かけるようになった。</p> <p>ウォーキングは個人の時間設定で安全な場所のできることから、今後とも力を入れてほしい事業と思うが、ウイズコロナの状況の中で、今後の事業展開についてどのように考えているのか。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	躍進会 三枝守和	1. ドクタービレッジ構想について	<p>(1) 市のアンケートによると、本市に対し若者世代が分譲住宅として求め定住したいと思う要件は、子育て支援・教育環境や土地の価格が安いとのことである。加えて、病院があるかないかで定住要件が違ってくると考える。そこで、現在、旧八田窓口サービスセンター跡地と9月に閉鎖するJA南アルプス市八田支所の土地をJA南アルプス市と協議を持ち、内科・小児科・皮膚科・眼科・泌尿器科・整形外科・産婦人科等複数のクリニックが集まったエリア、いわゆるドクタービレッジの誘致を求めたいと思うが本市の考えは。</p> <p>(2) 市の第2次総合計画、「幸せ創造プロジェクト」の中に「安心して暮らせる魅力ある地域づくりの推進」とある。安心して暮らせる魅力ある地域をつくり定住を促進するため、若草保育所跡地にもいくつかの診療所の誘致計画を求めるが市の見解は。</p> <p>(3) 私は地域の開業医の先生にCTの検査で肺がんを見つけてもらい、ステージ1で肺を一つ切除した。その他にも2人の先輩が胃がんの早期発見で現在も元気で暮らしている。 身近な開業医の気楽な言葉にCT検査を承諾し、ステージ1が発見される。これこそが地域医療と考える。そこで、県内ではCTの検査機器を導入する開業医に5,000万円の助成金を支出している市もあり、本市としての支援体制を伺う。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	躍進会 花輪幸長	1. 農業資材高騰に対する緊急対策について	ロシアのウクライナ侵攻により世界の流通機構が一変し、エネルギー関連をはじめ資源価格が暴騰している。この影響を受け農業資材価格も高騰している。この対策として市としても農家に対し一定の助成措置が必要と思うが、市の考えは。
		2. 前年度実施された産地パワーアップ事業継続について	前年度国の補助事業として、JAに対し補正予算で急遽実施された産地パワーアップ事業は農家にとって大変有利な内容であり、継続実施を国等に依頼することを要請したが、今年度継続実施される見込みがあるのか。また、継続されないときは、市として独自に、代替施策が必要と思うが、市としての考えは。
		3. 生ごみの減量化対策について	生ごみ減量施策として処理機コンポスト容器は必須である。この利用については、設置・移動時のバックホー等の使用が必要である。については移動等を容易に行いコンポスト容器設置促進、堆肥の効率的利用を図り、生ごみ減量を目的に、設置者が業者に容器移動等を依頼する時に若干の助成金支出を検討したらと思うが、市の考えは。

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	<p>躍進会 戸栗 淳</p>	<p>1. 空き家と獣害対策について</p>	<p>(1) 近年、長年空き家になっている家屋に、ハクビシンやキツネなどが住み着いており、対処に困っているとの苦情が私のところに多く寄せられる。このような状況の中で、市としてはどのような対応策を考えているのか。</p> <p>(2) 空き家が増加することにより、獣害も増えている。 他県によっては、空き家を解体するにあたり、一定期間使用されない空き家に対し、税金を納めている事、解体前に書類を申請する事、また自治体で定めた業者に依頼するなど条件を満たせば、建物構造と坪数によっては、90万円～200万円以上の補助金を出している自治体もある。 当市としても使用されていない空き家を減らすためにも、空き家を解体する補助金制度を設ける必要があると思うが、市の見解は。</p> <p>(3) 現在の固定資産税は、建物がある土地と建物が無い土地とでは6倍の開きがあるが、これも建物を解体しない要因となっているのではないか。 空き家敷地に対して市が固定資産税の減免などの施策を講じれば、解体に応じる市民も出てくるのではないかと思うが、市の考えは。</p>

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	<p>躍進会 戸栗 淳</p>	<p>2. ワクチン接種について</p>	<p>(1) コロナウイルスが発生して、早3年以上経つが、最近ではコロナが収まるどころか、第7波が襲来し感染が猛威を振るっている。こうした中で、国は第3回、第4回とワクチン接種に力を注いでいる。こうした状況の中で接種率を年代別で見ると、60代以上の接種率90%以上に比べ、10代から30代の接種率が80%にも至っておらず、若者の接種率が低いと思うが、この状況に対し、市はどのように考えるか。</p> <p>(2) 今年はコロナと同時にインフルエンザの流行も噂されているが、インフルエンザの予防対策として、市として何か施策を検討しているのか。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	公明党 齊藤博明	1. ケアラーバーの積極的な支援について	<p>(1) 児童相談所や児童養護施設などと情報共有し、常に対象者の実態を把握しなければならないと考えるが、本市における実状は。</p> <p>(2) 社会的養護から自立していくためには、相談支援体制の確立とともに物理的な支援策が求められる。アウトリーチ等により生活状況を伺いながら、必要に応じて支援機関と連携して支援を実施していく必要がある。市の所見は。</p>
		2. 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成について	<p>帯状疱疹ワクチン接種に係る費用の負担を軽減することにより接種を促進し、帯状疱疹の発症および重症化を予防することを目的に、予防接種に係る費用の一部を助成することを提案する。市の所見は。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 1	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>松野昇平</p>	1. コロナ禍における地域医療・介護・障がい者福祉について	<p>(1) 医療はケガやウイルスから命を守るだけでなく、介護・障がい者福祉、子育ての現場などの安定や社会の活力を維持する重要な社会基盤である。例えば、臨時発熱外来の設置など、コロナ禍においてひっ迫した医療現場の負担を合理的に軽減し、市民の命を守るための取り組みについて、市の所見は。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスの感染対策と物価高騰によるコスト増により収益環境への圧迫が続いている医療・介護・障がい者福祉現場への支援について、市の所見は。</p>
		2. 図書館への電子書籍の導入について	<p>図書館に電子書籍を導入することにより、スマホなどで、時間と場所を選ばず本を借りることができて、返却を自動で行うことも可能である。</p> <p>また、文字・画像の拡大や音声読み上げ機能により、視覚障がい者や高齢者等へのサービス向上にもつながる。</p> <p>大変注目されている便利な電子書籍の導入について、市の所見は。</p>
		3. 使用済紙おむつの施設内処分について	<p>保護者、保育士双方の負担軽減や衛生面の向上が期待される使用済紙おむつの施設内処分について、その後の進捗状況は。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
12	新政南アルプス 有野一成	1. 太陽光発電施設 について	<p>(1) 平成24年から始まった固定価格買取制度により、全国的に太陽光発電施設の導入が進んでおり、特に日本日照時間が長い山梨県においては、その導入が急速に進んでいる。一方で県内他市町村においては、森林伐採をして山の斜面等に設置することにより、土砂崩れ等の災害発生の危険性、自然環境の破壊、景観の悪化等様々な問題が生じている。本市においては、このような問題が発生していないか等、市内の現状等について伺う。</p> <p>(2) 昨年山梨県では、太陽光発電事業と地域環境との調和及び県民の安全で安心な生活の確保を図るため「山梨県太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例」を制定した。又、それ以前に北杜市では「北杜市太陽光発電設備と自然環境の調和に関する条例」等を制定している。 ユネスコエコパークに登録されている本市においても、今後は太陽光発電事業と自然環境や景観等の調和を図り、安心・安全な市民生活を確保するため条例等を制定していく必要があると思うが、市の所見は。</p>
		2. 林道南アルプス 線（スーパー林道）について	<p>(1) 2019年の台風19号により被害を受けた本市と長野県伊那市を結ぶ林道南アルプス線は、広河原から北沢峠間の通行止めが続いている。もう3年近くも経過しており山岳観光や自然環境等に大きな影響を与えていると思われるが、現在でも復旧工事に全く手が付けられていない理由は何か。復旧工事はいつ始まって、いつ完了し開通するのか等について伺う。</p> <p>(2) 現在、広河原から北沢峠間(10.2km)の市営バスは、運行を休止せざるを得ない状況が続いている。復旧の目処が立っていない状況で、今後、バス運送事業にどのように取り組んでいくのか、市の方針等は。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
13	新政南アルプス 三木 充	1. 広域的な道路 ネットワークに ついて	<p>(1) 本定例会初日の市長の説明要旨でも触れられたように、山梨県の6月定例会において示された、新しい道路ネットワークの構築、「新鏡中条橋の整備推進」であるが、やっと1歩を踏み出せた。市長をはじめ多くの関係各位のご努力が実を結んだ結果である。このルートは、まだ決定しているものではないが、本市のみならず近隣市町の地域活性化に大きく貢献するものと考えられる。そこで、本市の道路網の再構築の検討を急がなければならないと思うが、市の考えは。</p> <p>(2) 新産業拠点整備事業や、下今諏訪工業団地の企業誘致も進み、これからIC周辺整備事業が進んでゆく中で、車両の往来の大幅な増大が見込まれる、中部横断自動車道の双葉JCから、白根ICまでの4車線化の実施計画があるようだが、それを増穂ICまで延伸の要望・要請などの働きかけをしてはどうか。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
14	新政南アルプス 村松三千雄	1. 本市の新たなまちづくり戦略の見える化を目指した「政策ビジョン」の構築について	<p>南アルプス I C 新産業拠点整備事業については、『山と暮らす街』をテーマにした地域交流施設と大型商業施設による事業提案を受け、集客・交流拠点としての機能や、本市の象徴である山と農業の活用、既存の地域資源との連携、大手企業や地場産業との連携等を評価し、この度の参入事業者2社の決定に至ったと認識している。</p> <p>市長の「豊かで活力のあるまちづくり」の最重要課題としての本事業は、『南アルプス市は今、大きな転換期を迎えている』と言っても、過言ではない。</p> <p>年間200万人程の集客力を見込む本事業は、画期的な事業であり、新たなまちづくりのスタートと捉え、この地を核とした、市民とともに歩むこれからの本市の将来構想としての指針『政策ビジョン』を早急に構築し、市民の皆さまにビジョンを公表すべきと考えるが、市の所見は。</p>

令和4年 南アルプス市議会 第3回定例会（9月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
15	小林敏徳	1. 旧完熟農園について	<p>破産してから7年になる。その間ずっと再開にむけ当初「12ha一括賃貸で農業6次化に特化した優良企業の誘致」として議論を重ねてきた。いつどの時点でどのような理由で商業企業の誘致に変えたのか、詳しく時系列で説明せよ。</p>
		2. 本市の人口対策について	<p>本市の人口は、平成25年をピークに年々人口が減り続けている。子育て支援は充実しているが、人口減少対策はどのように行っているのか。</p>